

愛知県経済の現状と見通し<2015年12月>

1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	基調判断(方向等)	基調判断の 前月との 比較(注1)	水準評価 (注2)
		詳細		
総括判断	景気の現状	景気は持ち直しつつある ----- 一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しつつある		
	当面の見通し	景気は緩やかに持ち直す見通し ----- 雇用・所得環境の底堅さや個人消費の回復を背景に、県内景気は緩やかに持ち直す見通し		
家計部門	個人消費	上向く兆しがみられる ----- 百貨店販売額は4か月連続で前年比増加		
	雇用	底堅く推移 ----- 有効求人倍率は高水準を維持し、前月から横ばい		
	住宅投資	増加基調 ----- 住宅着工戸数は5か月連続の前年比増加		
企業部門	企業活動	底入れの兆し ----- 鉱工業生産指数は、小幅ながら2か月ぶりに前年比低下		
	企業倒産	低水準 ----- 企業倒産件数は6か月ぶりに前年比減少		
海外部門	輸出	減速感がみられる ----- 名古屋港通関輸出金額は4か月連続の前年比減少		
公共部門	公共投資	低調 ----- 公共工事請負金額は3か月連続の前年比減少		

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、：上方修正、：据え置き、：下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、：晴、：晴～曇、：曇、：曇～雨、：雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 長井
	電話：059-354-7102 Mail：mir@miebank.co.jp

2. 個別項目の動向:家計部門

基調判断	上向く兆しがみられる		
基調判断の前月との比較	→	水準評価	☁

《現状》

○県内個人消費の動向を販売側からみると、10月の名古屋市百貨店販売額は、前年比+3.3%と4か月連続の増加(図表1)。品目別にみると、飲食料品(同▲0.7%)が小幅に減少したものの、主力商品の衣料品(同+3.3%)が2か月ぶりに増加したほか、家具・家庭用品を含むその他(同+6.9%)も7か月連続で増加。

○11月の新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)は、前年比▲9.4%と3か月連続で減少(図表2)。車種別にみると、軽自動車税引き上げに伴い販売低迷が続く軽乗用車(同▲19.6%)をはじめ、普通車(同▲5.9%)、小型車(同▲3.7%)と揃って減少。

○一方、消費の動向を支出側からみると、10月の消費支出(勤労者世帯、名古屋市)は、前年比+2.5%と2か月連続で増加(図表3)。食料(同▲8.6%)が5か月連続で減少したものの、リフォームを含む住居(同+158.0%)や教育(同+24.5%)が大きく増加し、支出総額を押し上げ。

《見通し》

○県内の主要産業である自動車関連などで好調な企業収益を背景とした賃金の増加が期待されるほか、原油価格下落に伴うガソリンなどエネルギー価格の低下も下支えし、個人消費は緩やかに回復する見通し。ただし、乗用車販売は消費増税後の落ち込みが大きく、回復には時間を要する見込み。

図表2 新車乗用車販売台数<前年比>

(資料)日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」

◆11月 新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)
 25,529台 前年比▲9.4%(3か月連続の減少)
 ・軽乗用車: 6,997台 前年比▲19.6%(11か月連続の減少)

図表1 名古屋市百貨店販売額<前年比>

(資料)中部経済産業局「管内百貨店・スーパー販売概況」

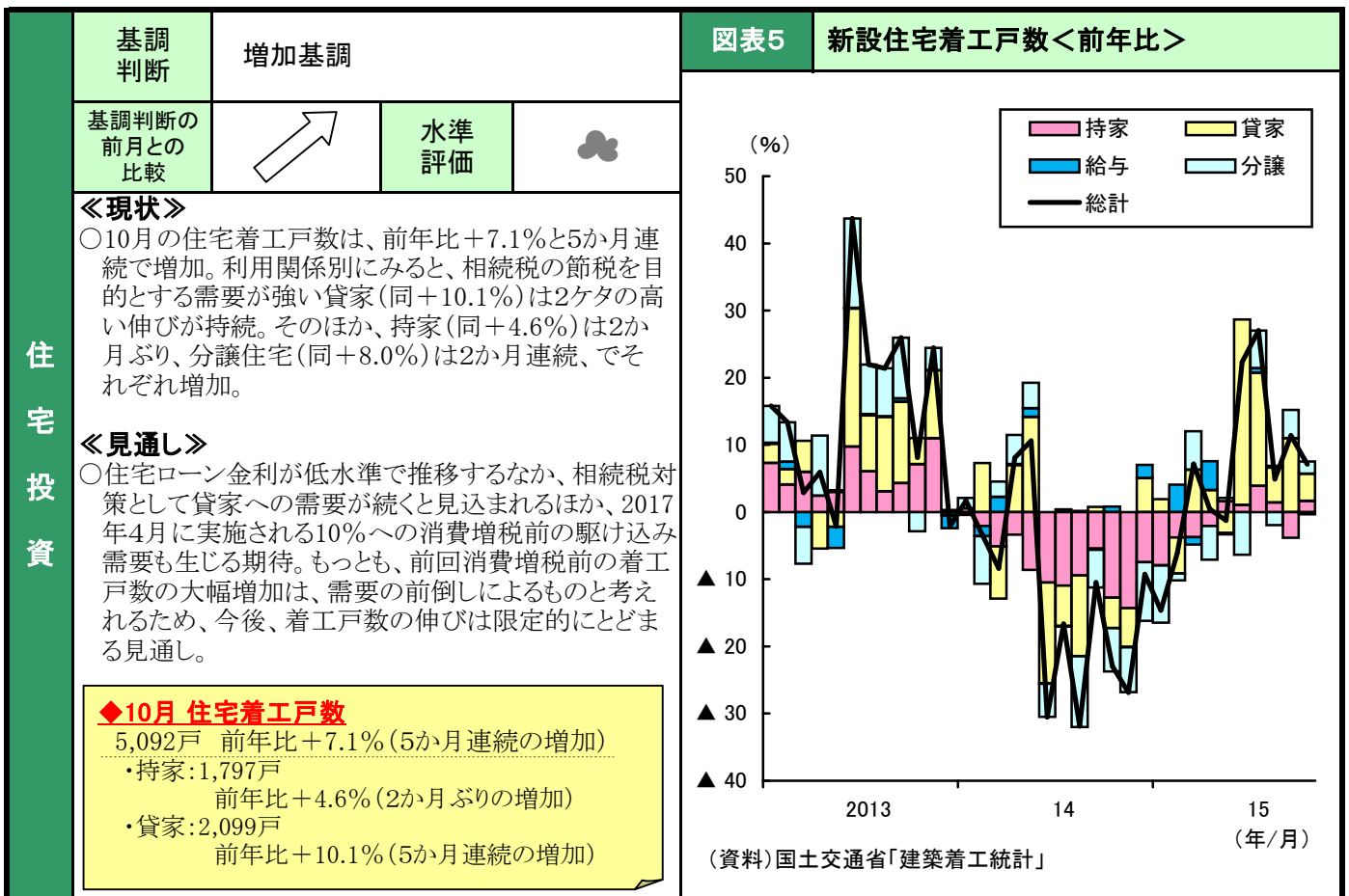
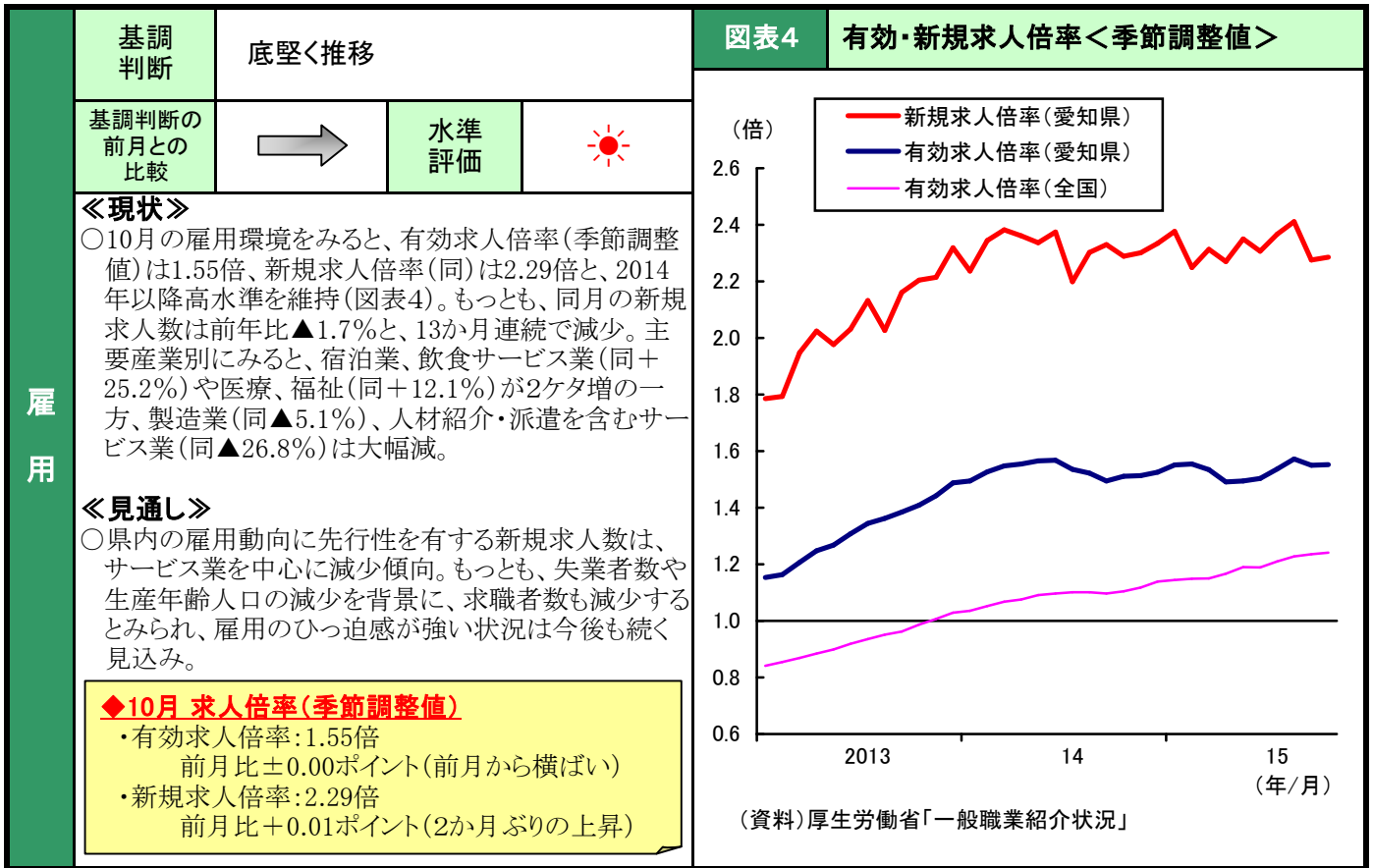
◆10月 名古屋市・百貨店販売額
 341億円 前年比+3.3%(4か月連続の増加)
 ・衣料品: 前年比+3.3%(2か月ぶりの増加)

図表3 名古屋市・消費支出等<前年比>

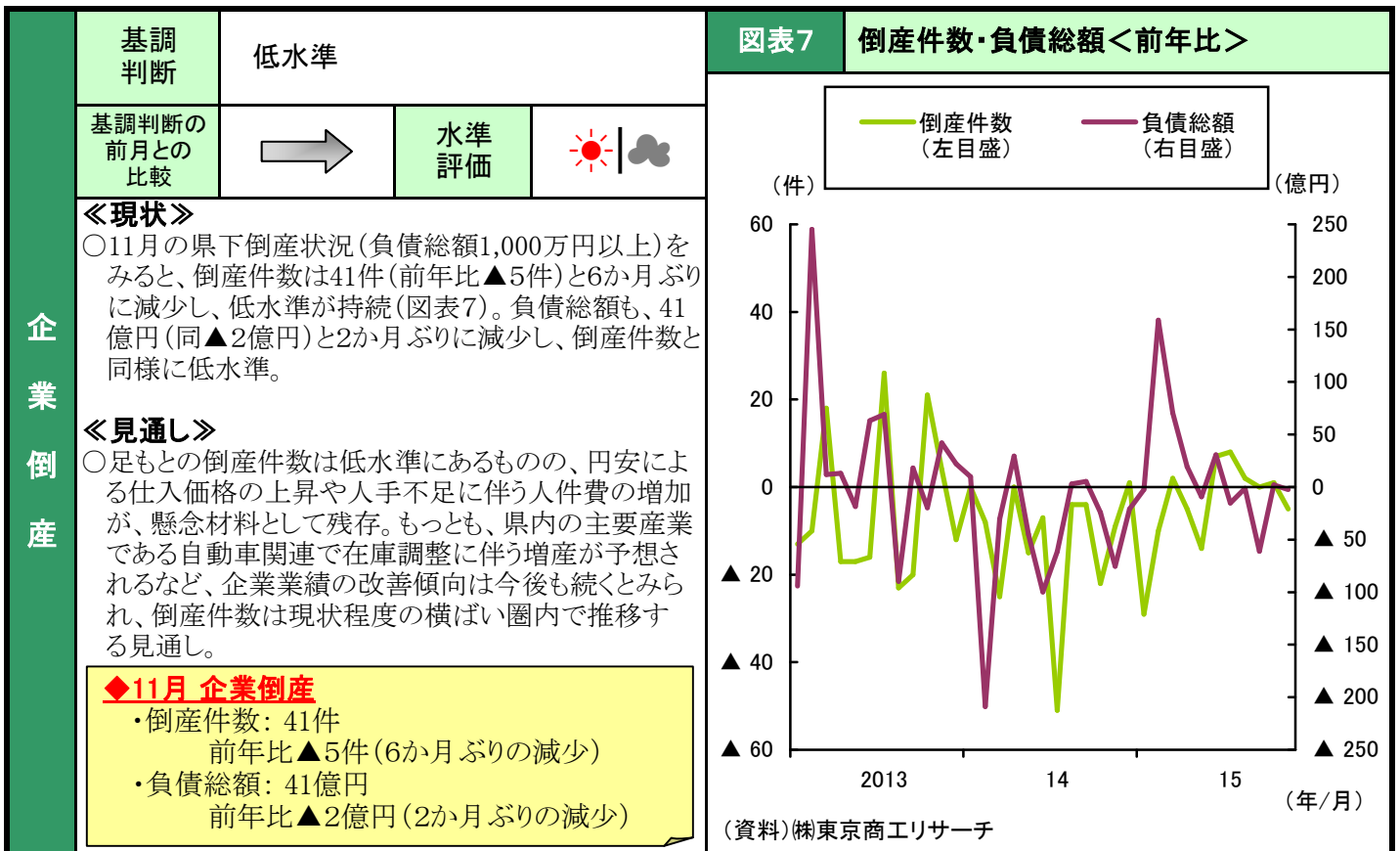
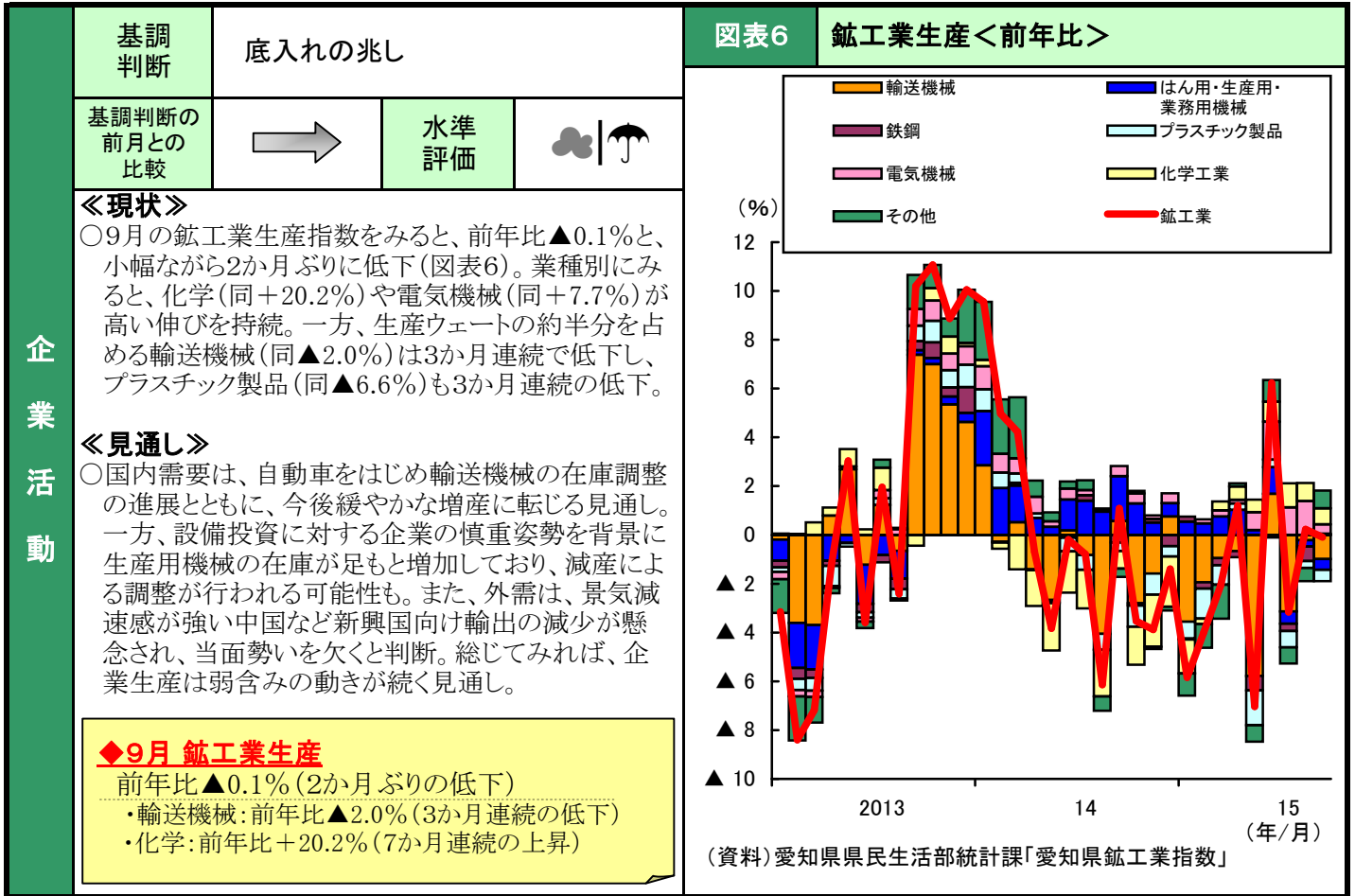
(資料)総務省「家計調査」

◆10月 勤労者世帯・消費支出
 前年比+2.5%(2か月連続の増加)
 ・住居: 前年比+158.0%(3か月連続の増加)
 ・教育: 前年比+24.5%(4か月連続の増加)

個人消費



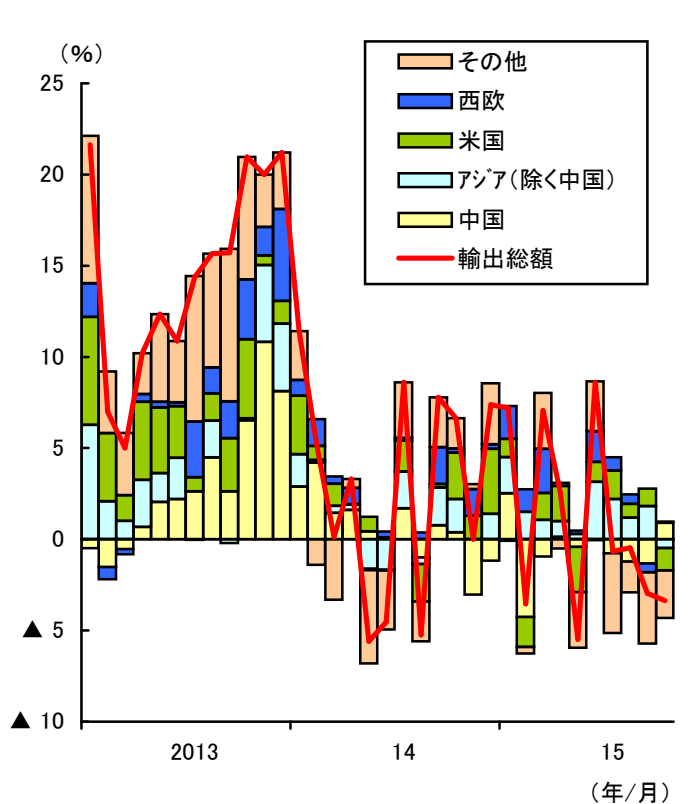
3. 個別項目の動向:企業部門



4. 個別項目の動向:海外部門

輸出	基調判断	減速感がみられる		
	基調判断の前月との比較	↓	水準評価	☁
	<p>《現状》</p> <p>○10月の名古屋港通関輸出額は前年比▲3.4%と、4か月連続で減少(図表8)。仕向地別にみると、中国(同+5.5%)が6か月ぶりに増加。もっとも、米国(同▲6.8%)が5か月ぶりに減少したほか、中東や大洋州を含むその他地域(同▲8.2%)も4か月連続で減少し、弱い動き。</p> <p>《見通し》</p> <p>○10月の一般機械(中部5県主要メーカー)の海外受注高は前年比▲27.6%と4か月連続で減少し、マイナス幅が拡大。地域別にみると、北米(同▲27.1%)やアジア(同▲34.2%)が大幅に減少し、総じて弱い動き。こうした外需の減退を受けて、先行きの輸出も減少傾向が続く見通し。</p>			
<p>◆10月 名古屋港通関輸出額</p> <p>10,333億円 前年比▲3.4%(4か月連続の減少)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国:前年比▲6.8%(5か月ぶりの減少) ・中国:前年比+5.5%(6か月ぶりの増加) <p>◆10月 一般機械海外受注高</p> <p>204億円 前年比▲27.6%(4か月連続の減少)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北米:前年比▲27.1%(4か月連続の減少) 				

図表8 名古屋港通関輸出額<前年比>

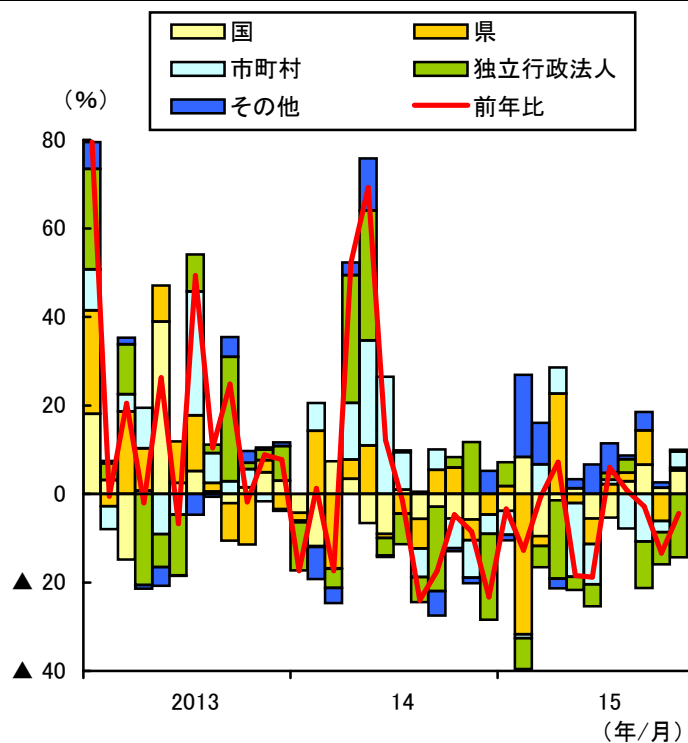


(資料)名古屋税関「管内貿易概況」

5. 個別項目の動向:公共部門

公共投資	基調判断	低調		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☁ ☂
	<p>《現状》</p> <p>○11月の公共工事請負状況をみると、請負件数は前年比▲1.7%と、3か月連続の減少。また、請負金額も同▲4.4%と3か月連続の減少(図表9)。独立行政法人(同▲70.1%)は大幅減が続く一方、市町村(同+9.5%)が4か月ぶりに増加。</p> <p>《見通し》</p> <p>○道路や防災などのインフラ事業は、引き続き底堅く推移する見込み。もっとも、今後、リニアやオリンピックなど中長期的な投資は期待されるものの、足元が公共事業節減を来年度予算編成に盛り込むなど、減少傾向は続く予想され、土木・建築関連企業の人手不足や資材価格上昇も足かせとなり、先行き、公共投資はおおむね横ばいとなる見通し。</p>			
<p>◆11月 公共投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共工事請負件数: 822件 前年比▲1.7%(3か月連続の減少) ・公共工事請負金額: 260億円 前年比▲4.4%(3か月連続の減少) 				

図表9 公共工事請負金額<前年比>



(資料)東日本建設業保証㈱「愛知県内の前払金保証取扱高」

以上

景 気 指 標

三重銀総研
2015/12/25

<愛知県>

(注) ()内は前年同期(月)比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2013年	2014年	2014年				2015年				
			10~12	1~3	4~6	7~9	7月	8月	9月	10月	11月
大型小売店販売額(店舗調整済)	(1.2)	(2.0)	(0.4)	(▲ 5.3)	(4.3)	(2.7)	(3.2)	(2.6)	(2.3)	(2.6)	
百貨店	(4.1)	(4.9)	(1.4)	(▲ 9.2)	(7.7)	(3.8)	(5.8)	(2.4)	(2.6)	(3.0)	
スーパー	(▲ 0.2)	(0.5)	(▲ 0.2)	(▲ 3.0)	(2.8)	(2.2)	(1.7)	(2.6)	(2.2)	(2.4)	
新車登録・販売台数(台)	256,568 (▲ 4.3)	256,917 (0.1)	56,232 (▲ 10.7)	71,341 (▲ 17.2)	54,023 (5.4)	61,924 (▲ 2.1)	21,227 (▲ 6.5)	17,043 (6.5)	23,654 (▲ 3.8)	18,362 (▲ 0.2)	18,532 (▲ 4.8)
有効求人倍率(季調済)	1.31	1.53	1.52	1.55	1.50	1.55	1.54	1.57	1.55	1.55	
新規求人倍率(季調済)	2.04		2.31	2.31	2.31	2.35	2.37	2.41	2.28	2.29	
名目賃金指数(調査産業計)	(1.2)	(0.9)	(▲ 0.2)	(1.1)	(0.2)	(0.9)	(2.6)	(▲ 1.8)	(0.8)		
実質賃金指数(同)	(1.0)	(▲ 2.3)	(▲ 3.0)	(▲ 1.9)	(▲ 0.9)	(0.4)	(2.0)	(▲ 2.5)	(0.7)		
所定外労働時間(同)	(0.7)	(4.6)	(2.7)	(7.3)	(8.1)	(6.4)	(6.5)	(8.0)	(4.7)		
常用雇用指数(同)	(0.2)	(0.8)	(0.9)	(0.4)	(0.7)	(0.9)	(0.9)	(0.9)	(1.0)		
新設住宅着工戸数(戸)	64,478 (14.6)	55,888 (▲ 13.3)	13,873 (▲ 20.1)	13,573 (▲ 4.8)	14,805 (6.7)	15,892 (14.5)	5,732 (27.0)	4,477 (4.9)	5,683 (11.4)	5,092 (7.1)	
鉱工業生産指数	(1.3)	(0.2)	(▲ 3.0)	(▲ 3.9)	(0.3)	(▲ 1.1)	(▲ 3.2)	(0.2)	(▲ 0.1)		
	-	-	< 0.1>	< 1.3>	< 0.4>	<▲ 3.0>	<▲ 5.4>	<▲ 0.1>	< 3.2>		
大口電力消費量(百万KWh)	25,184 (▲ 1.0)	25,565 (1.5)	6,265 (▲ 0.5)	6,090 (▲ 4.2)	6,225 (▲ 1.1)	6,659 (0.2)	2,329 (0.8)	2,099 (1.7)	2,231 (▲ 0.1)	2,173 (0.5)	2,093 (1.7)
企業倒産件数(件)	730	586	136	123	155	133	46	39	48	51	41
(前年同期(月)差)	(▲ 59)	(▲ 144)	(▲ 30)	(▲ 37)	(▲ 12)	(10)	(8)	(2)	(0)	(1)	(▲ 5)
非居住用建築物着工床面積(千㎡)	3,700 (19.1)	3,796 (2.6)	1,141 (38.3)	758 (▲ 8.8)	756 (▲ 19.0)	1,193 (33.9)	551 (54.3)	230 (▲ 19.8)	412 (66.9)	240 (▲ 46.7)	
名古屋港 輸出(億円)	110,584 (14.3)	113,748 (2.9)	30,403 (4.8)	28,042 (3.5)	27,952 (2.0)	28,441 (▲ 1.4)	10,163 (▲ 0.7)	8,512 (▲ 0.5)	9,766 (▲ 3.0)	10,333 (▲ 3.4)	
公共工事請負金額(億円)	4,815 (13.1)	4,941 (2.6)	882 (▲ 11.5)	714 (▲ 4.2)	1,836 (▲ 6.7)	1,365 (1.4)	530 (6.0)	348 (0.8)	486 (▲ 2.8)	326 (▲ 13.4)	260 (▲ 4.4)
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	(0.1)	(2.5)	(2.7)	(2.2)	(0.4)	(0.2)	(0.3)	(0.2)	(▲ 0.1)	(▲ 0.1)	

<東海3県(愛知・三重・岐阜)>

	2013年	2014年	2014年				2015年				
			10~12	1~3	4~6	7~9	7月	8月	9月	10月	11月
大型小売店販売額(全店)	(1.0)	(2.5)	(1.7)	(▲ 3.3)	(6.0)	(4.5)	(5.1)	(4.6)	(3.8)	(4.4)	
同 (既存店)	(0.7)	(1.4)	(0.0)	(▲ 5.1)	(3.7)	(2.3)	(2.7)	(2.2)	(2.0)	(2.4)	
有効求人倍率(季調済)	1.21	1.43	1.43	1.48	1.46	1.51	1.50	1.52	1.51	1.51	
新規求人倍率(季調済)	1.87	2.12	2.14	2.16	2.20	2.22	2.24	2.23	2.18	2.20	
新設住宅着工戸数(戸)	87,806 (14.8)	76,030 (▲ 13.4)	19,506 (▲ 18.7)	18,241 (▲ 4.0)	20,127 (7.3)	21,138 (12.6)	7,545 (23.3)	6,226 (5.1)	7,367 (9.5)	6,685 (▲ 0.4)	
鉱工業生産指数	(0.6)	(4.4)	(2.6)	(▲ 1.0)	(0.3)	(▲ 2.6)	(▲ 3.3)	(▲ 4.0)	(▲ 0.2)	(0.9)	
	-	-	< 0.3>	<▲ 0.5>	<▲ 1.2>	<▲ 1.4>	<▲ 4.3>	< 0.4>	< 4.6>	< 2.3>	
企業倒産件数(件)	1,015	859	197	183	217	183	63	57	63	64	53
(前年同期(月)差)	(▲ 71)	(▲ 156)	(▲ 49)	(▲ 57)	(▲ 19)	(▲ 3)	(▲ 4)	(5)	(▲ 4)	(▲ 8)	(▲ 10)
域内外国貿易 純輸出(億円)	60,891	58,773	18,153	16,759	17,694	17,545	6,553	4,488	6,502	7,176	
輸出(億円)	151,826 (15.0)	157,855 (4.0)	42,653 (5.9)	40,361 (7.8)	39,869 (5.4)	40,838 (2.3)	14,450 (2.0)	12,035 (1.8)	14,350 (2.9)	14,754 (0.7)	
輸入(億円)	90,936 (11.0)	99,082 (9.0)	24,500 (3.5)	23,603 (▲ 8.1)	22,174 (▲ 5.8)	23,293 (▲ 7.7)	7,898 (▲ 7.9)	7,547 (▲ 5.7)	7,849 (▲ 9.3)	7,578 (▲ 7.6)	

：各指標における直近の数値